

平成20年度第5回（第8期第5回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

平成21年3月25日（水） 午後2時 ～ 市役所6階 大会議室

- 1 開会
- 2 事務局報告
- 3 諮問事項の審議
各分科会による審議
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

- 1 ごみらいふ
-

事務局報告

それでは4点について事務局報告をいたします。

第1点目は平成21年度予算についてでございます。来る4月5日に市長選挙があるため、平成21年度予算は骨格予算となりました。3月2日～4日に一般会計の予算特別委員会により審議され、3月23日の本会議で可決されました。ごみ減量対策課の予算でございますが、歳入では世界的な経済不況により資源物の価格が大幅に下落していることを受け「資源回収品売払金」の歳入が前年度に比較して約47,900,000円の減額となっております。歳出では今年度大きな事業は組んでおりませんので、全体として前年度に比較しまして、約7,800,000円減で、主な理由といたしましては、リサイクル推進の委託量の増、負担金の減等によるものです。

第2点目は、21年度の新たな取り組みでございます。ペットボトルキャップの資源化、落ち葉リサイクルの充実、クリーンメイトのご協力を得ながら、生ごみ水切りのモデル事業を予定しております。なお、審議委員さんの中でご協力を頂ける方がいらっしゃいましたらよろしく願います。

第3点目は、マイバッグキャンペーンの結果についてでございます。昨日小川東町フードハピネスエコスの店頭で、クリーンメイト8名のご協力をいただき実施いたしました。105の方にアンケート調査のご協力をいただきマイバッグの利用は、はいが84人80%、いいえが21人20%、出口調査では182人中マイバッグ持参者は86人47%、持参無しが96人53%の結果でした。ごみ減量のためにも今後もキャンペーンを実施してまいりたいと考えております。

市民協働・啓発活動推進部会報告

出席者 池月・姜・木村・澤藤・島・竹内・豊崎・波田・白相（記録）

今回は市民協働啓発活動の主旨に沿ってフリートーキング形式で行いました。

大学生の現状と啓発活動

- 3月卒業による転出の学生が引越しに当り分別をせず多量のごみを一度に出す。
- 曜日（ごみの日・資源の日）時間（早朝・夜）に関係なく出す。
- 大学校内の分別やリサイクルに対する取組と下校後の市民としての生活の場でのルールとの違いが、分別やリサイクルをより難しくしている面もある。
- 4月入学による転入の学生へ市及び不動産業者がパンフレットを配布する。
また市の窓口で説明も行っている。しかし不十分。繰り返し説明、指導が必要。
- アパートのオーナー、管理人、不動産業者は入居学生に十分な説明と指導をする事。
- 4月に新入生を迎える大学側は必ずパンフレットの配布と説明を行って欲しい。
- 地域で行われるフォーラムやイベント、説明会等に参加出席を呼びかける。

集積所・その他

- 集積所を利用している家同士、管理に責任を持ち当番制で清掃してる所もある
- 引越しして来た住民には、最初が肝心で集積所のルールを説明、利用して貰う（自治会）
- 引越シーズンは分別してない事も多い。気付いた人が声かけをする。
- クリーンメイトや自治会等補助団体に協力を求める（パトロール、違反者への声かけ）
- 集積所ごとで差がある。良い所の情報を知らせる（ごみらいふに掲載等）
- 問題のある集積所は利用者で話し合い、良い例を参考に、市にも相談し解決していく
- 永年集積所の清掃や維持管理を献身的にしている人を紹介する（ごみらいふに掲載）
- 団体の大きな活動も大切だが、個人の活動も大切、腕章など有ると活動しやすい。
- 施設の視察や見学会の開催、施設や作業現場を視ることで実状を知り、何が大切で、

何をすべきか、解ってくる。

次回、市民協働・啓発推進部会の審議議題は「市民への啓発活動を考える」です。それぞれ異なる年代層や立場の市民にどの様な啓発活動が出来るのか、また其の活動を支えて行くのは…

それぞれ異なる年代層や立場の市民とは…高齢者、一般市民、障害者（視覚・聴覚・身体・他）、学生（大学生・高校生・中学生・小学生）・幼児・他

情報提供のあり方部会報告

出席者 後藤・猪熊・上野・小池・佐藤・下條・棚井・土井・馬場・藤森

「情報提供のあり方」に関して各自の思いをフリートーキングの形で話し合った。その時に話題になったテーマは下記のようなものであった。これらは、次回に 1. 情報を伝える対象 2. 情報の内容 3. 情報メディア、情報のレベルというように観点で整理、肉付けして部会のまとめとすることとなった。

話題となったテーマ

1. 市報やゴミカレンダーに関して

- ① 市報やゴミカレンダーは多くの市民によく読まれていると考えられる。
- ② 分別 一般家庭 カレンダー 分別法の各家庭での実情の表現
- ③ カレンダーとともに 分別の仕方を明記 平成 17 年から変わっていない
- ④ カレンダーの目的 ゴミ+エネルギー
- ⑤ 市報 欄外を使い宣伝

2. 町会、自治会、アパートの管理者を介しての情報提供

- ① ゴミの出し方や分別法を不動産会社を通じて、店子に指導してもらう
- ② アパートの管理会社 学生 自治会
- ③ 学園西町 一般アパート 昔のアパート 敷地のないところでゴミの出し方が徹底しない
- ④ マンションは割合良いがもっと小さいアパートが良くない

3. ゴミ集積所に於いて

- ① 分別 もって行ってもらえない 紙を貼る
- ② 注意を貼られたもの もって行ってくれる
- ③ 目的でないもの イエローペーパー 燃えないごみと資源の見分け
- ④ 集積場に立て札 張り紙

4. イベント会場において

- ① イベント 産業まつり マイバッグ もって来た人 抽選券
- ② イベントゴミ マイはし

5. 事業所、お店を対象に

- ① 事業所の有料化の宣伝 登録が少ない 一般に混入
- ② スタンプ 豆腐 お茶 お惣菜 実践できる場 米屋

6. 学校、教育

- ① 学習の場 小学校 3年4年 エコ教室 ゴミの出し方 行政が関与 小平のものを使う
CO2のこと 緑 ゴミ エネルギー 子供 枝きり 飼料 肥料 ゲーム

7. 新聞を読まない人へ

- ① のぼり 期間 場所 スローガン 新聞読まない人
- ② のぼり 垂れ幕

8. 自治会などに入っていない人へ、外国人など日本語がわからない人へ、住民登録をしていない人

- ① 自治会のない 会員になってない人
- ② 外国語 6ヶ国語
- ③ 学生等への情報提供
- ④ アパート パンプ 学生の場合

9. 子供を対象に

10. その他

- ①. 基本計画 基本視点 循環型 廃棄物減量 有料化が効果的と思う お金の使い方 お金を払っている人
- ② ペットボトルキャップを集めるとワクチンになる 車椅子 社協 NPO法人
- ③ PETボトル その他
- ④ 罰則がないから徹底しないのかも
- ⑤ 情報提供に予算は十分あるのか 考えなくていいのか
- ⑥ 東村山カレンダー 文字が小さい どの程度利用しているのか知りたい
- ⑦ ゴミ 基本 水切り 1日〇〇グラム減
- ⑧ お茶碗いっぱい減量など具体的に宣伝を
- ⑨ 分別する理由をつける
- ⑩ ゴミを出さない コラム 面白く読ませる

以上
